

# 競技者注意事項

この大会は、2025年（財）日本陸上競技連盟競技規則、及び本大会の規定により行う。

## 1. 招集について

- ①競技者係（メインスタンドの下）の用紙に○をつけ、一次点呼とする。
- ②点呼終了時刻は、トラック競技は競技開始時刻の15分前、フィールド競技は競技開始の20分前とする。
- ③選手は点呼終了時刻までに余裕をもって召集所（競技者係と同じ場所）に集合する。
- ④召集所での点呼終了後、競技者係の誘導でスタート位置・競技場所へと移動する。

### 【トラック競技】

- ・競技者係にて一次点呼を行う（用紙に○をつける）。
- ・棄権の場合も必ず競技者係に申し出る。
- ・他種目との重複がある場合は必ず競技者係に申し伝える。
- ・召集所で待機し、点呼を受ける。
- ・誘導に従ってスタート地点に移動する。
- ・出発係が最終的にナンバーを確認して、スタート位置に着く。

### 【フィールド競技】

- ・競技者係にて一次点呼を行う（用紙に○をつける）。
  - ・棄権の場合も必ず競技者係に申し出る。
  - ・他種目との重複がある場合は必ず競技者係に申し伝える。
  - ・召集所で待機し、点呼を受ける。
  - ・誘導に従って移動し、フィールドの役員（呼び出し）がナンバーを開始する。
  - ・トラック競技に移動する際、またはトラック競技から戻る際には、いずれも必ず両方の役員（トラックは出発係・フィールドは呼び出し係）に申し出る。
- ※棒高跳のみ、競技者係にて一次点呼を受けた後、競技開始50分前までに競技場所に直接集合とする。

### 【混成競技】

- ・競技者係にて一次点呼を受ける。
- ・棄権の場合も必ず競技者係に申し出る。
- ・他競技との重複がある場合は確実に申し出る。
- ・召集所で待機し、点呼を受ける。
- ・誘導に従ってスタート地点に移動し、1種目目（ハードル競技）を行う。
- ・2種目目以降は、現地集合とする。点呼終了時間は競技開始15分前とする。

### 【リレー競技】

- ・リレーのオーダー用紙は、競技開始1時間前までに「記録室」（写真判定室の横）に提出する。なお、一度提出したオーダーの変更について、怪我などで競技不可能となった時以外は認められない。
- ・男子は黒字、女子は赤字で記入する。
- ・他のトラック種目と同様に、競技開始15分前までに召集所で待機する。
- ・召集所でナンバーを確認し、競技者係の誘導で1～4走ごとに出走場所へ移動する。
- ・出発係が最終的にナンバーを確認し、スタート位置に着く。

### ※注意事項

- ・招集に遅れた者の出場は認めない。
- ・召集所でナンバーを確認した後は、召集所やスタート待機場所を離れてはいけない。
- ・各競技種目の移動はすべて競技者係の誘導によって行う。
- ・リレーオーダー用紙はプログラムに同封しているもの（ホームページ掲載データも可）を使用する。ただし、男子決勝に進出したチームは、競技者係で再度オーダー用紙を受け取ること。
- ・競技を棄権する場合も、競技者係に申し出ること。「点呼をしない＝棄権」という意味ではない。
- ・競技時間が重複する場合は、その旨を競技者係及び審判員に申し出て、棄権にならないよう注意すること。
- ・フィールド競技とトラック競技を移動する際は、必ず両方の競技役員に申し出ること。

## 2. 走路順・試技順について

- ①プログラム記載通りとする。
- ②トラック競技の決勝のレーンは本部記録で決定する。
- ③フィールド競技の4回目以降の試技は、3回目までの記録をもとに決定する。
- ④フィールド競技とトラック競技が重複する場合、審判員の判断でフィールド競技の試技順変更ができる。

### 3. トラック競技

- ①腰ナンバーをユニフォームの右腰や後ろにつけること。(中長距離の9レーン以降は競技者係で受け取る)
  - ②1500m、3000mは、競技者係で受け取ったレーンビブスをつける。競技後は競技者係に返却する。
  - ③男子400m・800mについてはタイムレース決勝とする。
  - ④女子800mのスタートはセパレートで行う。9レーンの選手は2レーンと、10レーンの選手は7レーンと同じレーンで出走する。
  - ⑤スタートの静止不十分については、注意を与えるものとする。
- ※短距離ではフィニッシュ後の衝突を避けるため、自分のレーンに沿った曲走路を走り抜けること。  
※長距離ではフィニッシュ後にすぐ倒れこむと危険である。ゴール地点から離れること。

### 4. フィールド競技

- ①走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

走高跳	男子	練習	1m10 / 1m40	1m20から5cm上げ	1m50から3cm上げ
	女子	練習	1m00 / 1m30	1m10から5cm上げ	1m35から3cm上げ
四種走高跳	男子	練習	1m10 / 1m40	1m10から3cm上げ	
	女子	練習	1m00 / 1m30	1m00から3cm上げ	
棒高跳	男子	練習	1m60	1m80から10cm上げ	

- ②跳躍競技においてのみ、アスリートビブスは胸部または背部のみでもよい。
- ③トラック競技と重複している場合、審判の判断で試技順を変更することができる。

### 5. 練習について

- ①7時30分～9時00分まで競技場を開放する。
- ②砲丸投の練習は、指導者または競技役員がいる場合のみ認める。練習用の砲丸は各自で用意することとする。
- ③ホームストレート競技の際は、競技に支障のない範囲で、バックストレートと外側トラックの一部を開放する。その際バトン以外の器具の持ち込みは認めない。
- ④トラック内・フィールド内からの応援や助力は行わない。
- ⑤リレー練習および競技後は必ずマーキングテープをはがすこと。
- ⑥トラック内外のいずれも、逆走は認めない。

### 6. シューズについて

- ①ピンは全天候型の9mm以下(走高跳12mm以下)とする。
- ②靴底の厚さは20mm以内とする。
- ③商標の規定違反(例：ランニングパンツとタイツの二枚履きで二つの商標が見られる)は注意を与える。

### 7. 観戦について

- ①その競技に参加の選手またはチームメイト以外は競技場内に入ることはいけません。
- ②メインスタンドでは着席して応援すること。特にフェンス前に立っての応援は、後方座席の迷惑となるだけでなく、フェンス崩落の危険がある。
- ③スマートフォン等の電子機器の扱いは学校生活と同様とし、使用を認めない。
- ④観戦者(保護者)の入場は8:45から南北小ゲートとする。
- ⑤観戦者(保護者)の応援はメインスタンドのみとする。選手のいる芝スタンドへは入らないこと。保護者の対応が必要な場合、選手がメインスタンドに向かう。
- ⑥盗撮行為防止のため、競技者に迷惑のかかる恐れのある方向(スタートの前後、走幅跳の正面等)からの撮影・行動を禁止する。疑わしい行為については、写真・動画を確認する。
- ⑦競技の写真や動画のSNS等への掲載は厳禁とする。

### 8. その他

- ①アスリートビブスは主催者で用意する。大会終了後、順番通りに並び替えて返却すること。
- ②競技中に写真判定室の前を通過してはいけません。
- ③競技以外でフィニッシュライン(写真判定カメラ内)を通過してはいけません。
- ④表彰は行わない。各種目3位以内の入賞者には賞状を授与する。(記録室に所属別のファイルを用意する)
- ⑤全道大会の申込データ作業は、会場では行わない。